



LONGIN

We create in Tokyo Japan since 2011

WEB MAGAZINE Vol.

12

その泳ぎ、
全てを感知する！



わずかな流れの存在も把握する
センシティブ・サーチベイト誕生

FRANKY

—フランキー—

120mm 20g Floating 1,995円(税込) 新発売!

フランキーは、流れの強い河川から干潟などの広大なシャローエリアを広くカバーし、効率高く探るためのサーチベイトとして開発されたシャローレンジ専用ミノー。フランキーの游行深度は水面直下から60cm。潮の干満による潮位の変化や、リアクションの変化に瞬早く広く対応するためのレンジ設定です。

水揺きが強くアピールの大きな泳ぎでありながら、ボディシェイプとウエイトバランスの絶妙なバランスを追求することで、強い流れに対してもリップレスミノーのように水を受け流すことで引き重りなく巻いてこられる使い勝手の良さと、シーバスを魅了するハイアピールアクションというふたつの要素を両立。それぞれ大ききの異なる高比重タングステンウェイトボールを4個使用し、更に移動玉を固定するためにマグネットを装着する事で、安定した抜群の飛距離とハイアピールで切れのある泳ぎを同時に実現しました。低速巻ではロールアクション、中速巻ではタイトオープンロール、高速巻になると超ハイアピールワイド系ウォブロール。絶妙なボディ形状により、強い流れでも飛び出さないよう設定。リトリブ速度に応じて可変アクションを誘発させ、流れの変化を敏感に感知すると同時にアクションの変化で自然な食合わせの間を演出します!



カラー(並上から): 022ブルー・マイアワシ(ドクベリ) (シャーンベロ)、023コノシロ(プレーンベロ)、024ボラ(レンズベロ)、025レンズキャンディー(銀粒ウメ)、026金ボラ(メッキ)、027チャートゴールド(グロウキャンディー(マグマ))、028ボクザリア(クワアマグマ)、029チャートパールオレンジ(クワアマグマ)、030クワアパール(クワアマグマ)、031レッドヘッド(銀粒パール)



シーバスゲームで重要なことのひとつは、
フィールドの流れを知ること！
流れがわかるルアーを使えば、
釣れるポイントやアクションは、
自ずと見えてくる！

これさえわかれば釣果アップ！ もっと簡単にシーバスを釣るための

フランキーの 使い方!

How to use
the FRANKY



Text by 村松 伶

LONGIN 第5弾ルアーとなるフローティングミノー「フランキー」は、私もプロットの段階から何度も投げており、ランカーサイズを含め沢山のシーバスに出会わせてくれました。

流れの抵抗を受けやすくレスポンスが良い「リップ付きルアー」と、流れを受けつつ受け流しボディに水を纏わりつかせる感覚の「リップレスミノー」を良いと取り出したフランキーは、状況を把握するための高いサーチ力を生かした「サーチベイト」として、フィールドに立つて初めに投げるルアーとして特にオススメです。



広大なシャローフィールドである干潟も、見えない流れが複雑に絡み合っているためフランキーが活躍する場面が多い。フランキーが100%の性能を発揮するのもこういう場所だ。

シーバスフィッシングに精通した人であればこの説明だけでどんなルアーか想像できると思いますが、ここではまだフランキーを使ったことのない人や、シーバスを始めて間もない人向けに、普段河川・河口域での釣行が多い私が、フランキーをどう使用しているのか解説したいと思います。

釣るために必要なサーチとは？

まずフィールドに立ってするべきことは、潮色や潮目やベイトの有無（いるときは量やサイズ）・水面の波の立ち方の違いや流れの方向・向きなどの把握です。しかし、目視できる潮目や流れをみても実際の水面下の流れは違うかもしれません。

そこで私はフィールドの状況を把握するために「サーチベイト」として、広範囲を探れ、なおかつ流れを感じやすく分かりやすく伝えてくれるフランキーをキャストします。

では、フランキーを投げるとどんなことがわかるのか解説していきましょう。

①釣れる流れを知るためのサーチ！

シーバスを釣る上で欠かせない要素のひとつに「流れ」があります。シーバスゲームを始めたばかりの人には、この「流れ」がどのようなものかよくわからないと思いますが、フランキーは流れの変化などを分かりやすく伝えてくれますので、流れがイマイチ分からないという方はぜひとも投げてみて下さい。

まずはフランキーの飛距離を生かし、広範囲にキャストして大まかな流れ方を確認します。大まかに流れを把握したあとは、ロッドを立てた状態や寝かせた状態など、ロッドの角度を変えて、泳ぐレンジを変えながら流れ方を立体的にイメージしながら確認していきます。

ロッド角度の調整で巻いてきた場合のレンジの差はそれほどありませんが、時としてそのわずかなレンジの違いだけで流速差がでている場面があります。

フランキーはその小さな違いさえも非常にわかりやすく教えてくれ、また刻一刻と変化する流れも感じ取ることができます。これは特に視覚の効かないナイトゲームや、遠投が必要とされるオープンエリアなどではとても有効です。

また、レンジ調整をしても流れの変化がない場合は、もう少しレンジが



とくに感覚に頼る部分の多いナイトゲームでは、流れがわかるかわからないかだけでも釣果に大きな差がついてしまうため、ユーザーの目としての役割が大きい。



サーフ以外の場所でもフランキーは有効。表層の流れを知るためにフランキーを投げるのもありだ。

ハイアピールワイド系ウォブングルール」と変化しするので、どの動き・どのリトリブスピードのときに食ってきたかなどを考えながらサーチすると、次のルアーローテーションにも繋がります。ロールアクションの時に反応が良ければロールアクション主体のルアーに、ウォブングルールの時に反応してきた時はウォブングルール主体のルアーにローテーションしていけば魚に出会いやすくなるでしょう。

ちなみに、フランキーは一見規則正しい動きに見えるかもしれませんが、リトリブ時にたまに振れ幅が変化したり、一瞬だけ水が多めもしくは少なく抜ける瞬間があり、その時にアクションが変化します。実はこれがキモで、このたまにバランスを崩して食わせるタイミングを演出する瞬間にバイトが発生しやすいです。

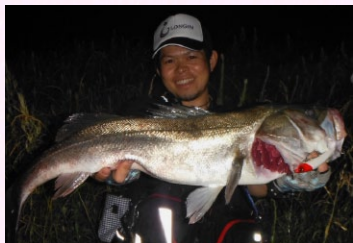
釣れる場所を見つけ出せ!

フランキーを投げて流れが効いている筋を見つけたら、その筋を自分から見て「筋の奥側」「筋の中」「筋の手前」に分け重点的に探ります。流速の違いがある場所に差しかかると、フランキーは自然にバ

下へ潜るルアーでレンジ調整して探るなど、次の一手へのローテーションの手助けとなります。

②釣れるアクションを探るサーチ!

フランキーはルアーに掛かる流圧によって動きが「ロールアクション」→「タイトウォブングルール」→「超



フランキーを使いこなすのに必要なのは難しいテクニックではなく、得た情報をいかに攻略へ生かせるかの判断能力だ。



流れの変化がわかれば、デイゲームでも釣れる確率はグンと上がる。狙ったところで喰わせられれば、まさに「してやったり！」の笑顔が自然とこぼれてくる。

ランスを崩したりアクションが変わって、食わせの間を演出してくれます。

流速の違いが出る場所というのは少なからず地形変化がある場合が多いですが、広大なシャローエリアにおいては、わずかな流速差・地形変化のあるところが、一級ポイントになる可能性があります。流れの変化している場所（地形変化のある場所）は、シーバスが回遊してくるコースの一部だったり、シーバスがステイするホットスポットです。すなわち、シーバスが釣れる、狙うべきポイントなのです。そういった場所をいち早く探すことができれば、ルアーをキャストする回数も減るのでシーバスに対して余計なプレッシャーを与えることが少なくなり、とても大きなメリットになります。

ゲームを簡単にするために!

フランキーは、ここまで解説したことがすべてタダ巻きだけでわかってしまいます。難しいテクニックは必要ありません。フランキーが教えてくれた流速差のあるポイントをそのままサーチして反応が



サーチはあくまで基本。フランキーが本当に面白くなるのは状況に応じた喰わせる釣りを覚えてから。色々試してみよう！

受ける流圧の違いでの動きの質の違いを感じ取るなどを集中して感じられるフランキーは、1年を通してサーチベイトとして使っていて本当に面白く、釣れるルアーです。

タダ巻きだけでなく、アップキャストからの流し込みやダウンキャストから流れを受けつつフラフラ漂わせたり、明暗部や流れのある場所でのドリフト、デイゲームなどでブリブリ泳がせるような使い方もできますので、サーチの仕方がわかったら今度はその時の状況に応じて喰わせる釣りを色々試してみると面白いですよ！

得られなければ、今度はレンジを下げたり、動きの違い、波動の違いでの反応を見るにPLEXやキックビートなどにチェンジして探っていきます。

こういった感じで私はゲームを組み立てていますが、広いエリアで一見何も変化がないようなポイントから流れが効いている場所を探すのが簡単になったので、以前よりゲームを組み立てていくのがとても楽になりました。

アングラーそれぞれ流れの感じ方や使い方は異なると思いますが、シーバスが通る可能性が高い流れがどのような感触の流れなのか、ルアーが



村松怜(むらまつ・りょう)

LONGINフィールドスタッフ。fimoアドバンス。千葉県湾奥～内房エリアをホームグラウンドとし、通年を通して高い釣果を上げているアングラー。とくに、ランカーを仕留める高い技術と独自の感覚に定評がある。

LONGIN. が贈るフリーペーパー

ロンジンマガジン Vol.2

弊社製品取扱店にて絶賛配布中です!



LONGIN
We create the best fishing gear in Japan since 2011

フランキー新登場!
ロングインが誇る最新鋭のフラッシュイグナー。フラッシュの強さを調節できるフラッシュセンサー。お好みの明るさで感度するフラッシュセンサー。

**井上ゆうきが語る
キックビートの魅力!**
スペシャルインタビュー! ショートキャストに必要不可欠なバイブレーションとは、?

トランプの本面専習がアスルト
トップウォーター
ゲームのススメ
これを知ればもっと釣れる
ジョイントルアーで
パチゲーム徹底攻略!

伊藤 二インタビュー
製品開発物語②
フランキー誕生秘話
山内 勝己ファーストインプレッション!
欲しかったルアーは
釣れるサーチベイト!

今号は3大新色を含む
200以上のアイテムを収録!

UOL

昨年刊行された弊社刊のフリーペーパー『ロンジンマガジン』第2号がいよいよ配布開始!

前号より大幅にボリュームアップした今号は、新製品フランキーのインプレや制作者・伊藤による開発秘話、ジンペンやプレックスを使った攻略法、そしてあの有名アングラー・井上ゆうきさんによるキックビートの解説も収録!

さらにロンジン全製品のカタログも掲載。カタログページではキックビートの2013新色ラインナップをWEBに先駆けて、いち早く紹介しています!

弊社代表の伊藤も愛読書としているロンマガ2号、ぜひ店頭にてお手に取って下さい!(ロンマガ1号はメーカー在庫切れしております。ご了承下さい)

ロンジンマガジン Vol.2

配布価格: ¥0 (フリーペーパー)

版型: A5版 24ページオールカラー

発行: 株式会社 LONGIN.

LONGIN. 製品取扱店にて無料配布中
(数に限りがありますので、品切れによる配布終了の際はご容赦下さい)



LONGIN

WE STRIVE TO Tokyo JAPAN since 2011

WEB MAGAZINE Vol.12

発行日：2013年11月16日

株式会社 LONGIN.